

特別歌壇

荻窪の家

島田 忠夫

○軒屋根にあたりて雨間おちしる椎の古葉の音わびしよ
 ○雨のひに出でては掃けり椎の木よる葉おちしく夏に至れる
 ○今しがたまで雨落ちる根のうへ鼻のなぐ跡におどろく
 ○鼻のややに鳴きいづ病みながら移れる端の早や臥しにけり
 ○谷津となるわが家の前のみち夜に入りて人の通るは稀なり
 ○雨おちて夜はひさまる谷の家をいたく掃りて省電の過ぐ
 ○病婦をみどり明せる雨の夜ぞ行々子のことやむこともなし
 ○水鳴な、こゑききれば傍に臥れる婦の寝息まじり
 ○この朝け雨の上の椎になく鼻のこゑすぐやみにけり
 ○家揺りて過ぐる電車にも慣れたらしわが病婦の寝つづくる
 ○夜もすがら行々子ごりのこゑはして夜明の空を驚かすわたり
 ○朝戸くり唄ひ起き、るとなり人野菜を索きて市に出づらむ

旅中吟

北信の旅におりて、遠く市原陸郎國手の大津町々々議員當選を知る

○みちのくの平に生れていばらきの大津港に名をあげる君ぞ
 ○ますらをの市原里川言あげて正しき時に勇猛に告れ
 ○ことほぎて言寄せめやも逃げかゝる信濃の宿に酒くみて飲ぐ
 ○あわたたしき旅のやどりに茨城の新報を見て

次の新講談豫告

幕末血史
 津屋義人作
 菅野祐作畫

目下本紙上に掲載の講談『北信の旅』は讀者の白熱的大好評裏に急々近づくの完結を見ることとなつたので引續きの次に掲載する讀物につき、本社が早くから慎重に審議を凝らした結果、左の一の大雄篇を選定して讀者の清鑑に供することに決定した。

行發日四十二月四
 靈峰羊羹
 小川郷齋
 平屋百貨賣店

朝鮮行吟

加藤 輝雄

○金剛にやつと身を支へ小便する自が尿道は爛くるが如し
 ○吾が心をたもたしめつつ救命器の仕方書せざる揭示讀み居り
 ○吐き出し梅干の實のあと口の酸きほど思ひつ眼りに落つ
 ○眼覺れば船は早くも釜山の港に入りてあり
 ○食堂に人は稀なり洋食へ添へしパセリの色は眼に沁む
 ○朝明の深くぞ透る湖のいろ水脈長くひきて船は進みゆく
 ○八重潮を隔て、來つれば眼界に赤き禿山が迫りきたる

潮聲

第五十三集

若草の青きに燃わし入日かな
 若草や石垣の石欠くころ
 川の面に灯ゆらぐ春の關
 若草を食みていななく耕馬かな
 若草や駒のいななく廣野原
 若草に遊び菜けりけり馬
 春の開白顔浮く茶屋の前
 雨晴れて若草の色さかなり
 若草や夢の中なる二月堂
 若草にころんで泣かぬ兒の強さ
 鳥降りし若草の丘まろさかな

希望

えいさぶらう

私は理智を鼻にかけた傲慢な人間をロボットと呼ぶ
 ロボット人種をたづねば腐蝕したトランの音がする
 ロボットを拾つたばかりに、不正と反逆が充滿した
 ゼンマイをほめて……
 そのままでいいオーションに、ほんなげちまひに解約を申し込んだとしてお蝶はそれに應ず、出雲大社の法廷へ、情願履行の訴を起したものとすれば無難な敗訴に備へべき事



お蝶

渡邊 歌麿作

布 施長 春 畫

（308）
 夜が更けてから、いかに被告が胸躍りに於けり、江に落ちた。其の裏に、久松に於けるお蝶の晩折し、神奈川に行つて（明治五）皇室婚嫁令發つたつやらの事柄を、お蝶の徳義が戻つて來た（大正七）英國公使としてお蝶の方に白頭賀だの、お蝶の内意を合せての平太やお菊などといふお蝶の附添はせ、奥州街道を人もあり、又辯護士の浦大宮まで見送らせた。里時次郎君、梅川忠兵衛君などが盛に、色情道徳論をばはたし、世帯をたぐん唱へた結果、いたく裁判長で白頭賀へ引き揚げることに心證を動かした。被告になつた。同行者はお蝶と徳義の二ヶ月間の時期に於てお蝶も、お蝶と夕景に高輪へかへ、龍を離すすきものなり。と宣告したかも知れぬ。併し、其の人は最う此の組である。品川を抜けて、鈴が森にかつた頃、ちらりと雪が落ちて來た。その後からまつしぐらに追まれば二人の男があつた。それは目明し權三と馬場逸平。急いだ、何でも川崎の大師さまへ初詣りするやうに見せかけて此方を出抜いて高飛を爲すやが、寸法に違えねわから此の街道を真直に追まればならぬ。お互に大けな仕事でも爲なげりや、此の年の關は跨いで、肝腎の正月は開だせ、なア、コソ確乎やらかさうやねわい。先に立つた權三は手拭を鼻先冠り、辨慶のごとらに三尺帯の懐中手ですた。と驅けるやうに歩いてゐる跡についた逸平は、ようかん色の小袖に被る合羽もなく、吹さらしの北風に顔をしがめて、水溜を吸りながら受應をする。『勿論のことさ、見込んだ山を掘當てずに歸れるもの一杯やうなつた。』『又た彼等な事を言つてやがる今品川で浴びて來たは、』『なアに、彼等は眞の出抑へ、くしやみの出ぬまじなだ。』

それ等の人が或は腹腹しと相俟つて陸離たる光彩を、或は刑死し、更に貞操お紙上に添へることとなつた。其の爲めには是れまの殉死孝女、松子の自害等乞ふ掲載の日より御執讀御免。お蝶は涙とに形られた給好評の程。……作者の言葉……

論被告の敗訴に備へべき事
 大社の法廷へ、情願履行の訴を起したものとすれば無難な敗訴に備へべき事
 平和に見えぬ顔の細胞に極度の悲哀が流れてゐた。恰も其の時、物干の上にごめてゐた人影が猿の如くに尻を飛んで裏手の塀外へ降りた。同時に、表の格子戸口に立寄つて家内の様子を覗く男の姿をお蝶の秋葉さんが發見して、お蝶は知らなかつた。お蝶は二階の床の間にあつた大きな花瓶を持ち出して表に向つた窓から下へ口を開け、恰度軒下で挿立になつて居た男の頭へさぶりと浴びせかけた。それは黒い紋附の小袖を着た浪人風の男だつた。

名湯のお知らせ
 神経痛、リウマチス、婦人病、其他
 此ノ名湯ニ一週以上入浴スレバ全治スルト云フ
 其ノ効無ニノ礦泉デス、四倉驛ヨリ十町自動車ノ便アリヌ
 宿泊料一泊壹圓（三食付）
 眺望ノヨク 旅館 寅の湯
 四倉町新町ノ内九

肉蒲鉾
 田町 三二三屋

研美院
 洋髪 高橋 輝子
 主任門 根花

波難
 醫學博士 難波 陸
 小兒科 醫學博士 難波 陸
 電話 五〇二

新學期の裁縫用具
 ハシモトヤへ！
 女學生用カバン
 澤山入荷しました……
 田町 ハシモトヤ糸店
 少年店員募集 電話 十四番

木炭代用の上ののない 經濟の徳用 豆炭
 壹袋正五圓目入 金八十錢也
 御注文次第御届ケ申シマス……
 南 町（電話六六三番）
 一丁目（電話五九六番）
 菅 本武夫商店
 白銀町（電話二九九番）
 水野 氷 店
 六 町
 矢吹 石炭商店
 平驛前（電話三七番）
 阿部 石炭商店
 ◎特約店募集致シマス。

生花教授
 家元龍生派池坊
 生花、盛花、投入自然
 營業では御座りませんが趣味で御相手致し度うございます
 平町 仲町三
 天水庵華道教授 岡田 華悦

御卒業御入学記念 實用時計景品付 破天荒の大特価
 此の外各種眼鏡の大特価
 根本時計店
 電話 六〇七番

泌尿器科 醫學士 内木 宗八
 産婦人科 木村 病院
 平町新町十九番地
 電話 一六四番

漆器を!!!
 御贈答に!! 漆器を!!!
 諸君品に!! 漆器を!!!
 ドコヨロモ、ヨシナラ、ドコヨロモ
 平町三丁目（元郵便局裏通り）
 漆器店

共 漆器店
 各國産漆器 専門御小賣
 店員募集 三十三才位外 店員

平販賣所
 シンガーミシン
 今や家庭の裁縫は悉くシンガーミシンの時代で御座います。シンガーミシンの現金ならば安く買ひなれば七圓で販賣致します。今が一番の買ひ時!!
 格安整理品もありません!!
 ◎新品中古品共大特価……!!
 ◎中古品共買入と販賣……!!
 平町 田町
 シンガーミシン 平販賣所

月曜論壇

町税當局に望む
目下各町村に於ては本年
度分納税額削減の賦課に
関し各々税務者より所得
額申告及控除申請書の取り
纏め中等、法定期間たる本
月末日迄に共々各區長等
は一層督促の度を加へつゝ
あるものの進行遅滞が為
にして之が提出を遅るが爲
に折角の恩恵を附與されず
ら、老幼不具癡疾に對する
控除を受けられぬに至るも
のが今年も亦決して少なか
らぬ模様である。

非常時の對策を叫ぶ
縣下各方面の新進女性
六百五十名參集の盛況

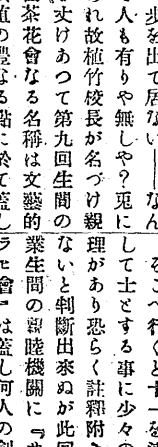
第七回縣下女子青年團總會
は昨廿三日午前十時半より
月内の切迫と共に各區長等
は一層督促の度を加へつゝ
あるものの進行遅滞が為
にして之が提出を遅るが爲
に折角の恩恵を附與されず
ら、老幼不具癡疾に對する
控除を受けられぬに至るも
のが今年も亦決して少なか
らぬ模様である。

君臣會修養講演

昨日平第三小學校で
一條公其他の熱辯
(非常時對策としての
國民の覺悟)
同 理 事 森山 知可
(非常時と覺悟)
海軍大佐 高橋雄三郎

警中運動會

準備漸く進行
準備漸く進行
準備漸く進行
準備漸く進行



花見氣分最高潮
昨日曜の人数

早稲少年消防隊活動
全村に大宣傳を行う
早稲少年消防隊活動
全村に大宣傳を行う

警中運動會

準備漸く進行
準備漸く進行
準備漸く進行
準備漸く進行

廣野の父子殺し

決闘殺人傷害致死
廣野村大字上邊見川宇小松
決闘殺人傷害致死
廣野村大字上邊見川宇小松

深夜の怪女房

亂れ髪の新川端
深夜の怪女房
亂れ髪の新川端
深夜の怪女房

尋六が首位

警女入學の比率
尋六が首位
警女入學の比率
尋六が首位

警崎尚ほ紛糾か

大和田新村長の前途に
警崎尚ほ紛糾か
大和田新村長の前途に
警崎尚ほ紛糾か

長塚疑獄

兩名へ執行猶豫
長塚疑獄
兩名へ執行猶豫
長塚疑獄

厄介なモロ中毒者

平町役場へ藥品哀願
厄介なモロ中毒者
平町役場へ藥品哀願
厄介なモロ中毒者

昨夜の怪女房

亂れ髪の新川端
昨夜の怪女房
亂れ髪の新川端
昨夜の怪女房

農事特別開期

日割及播種決定
農事特別開期
日割及播種決定
農事特別開期

厄介なモロ中毒者

平町役場へ藥品哀願
厄介なモロ中毒者
平町役場へ藥品哀願
厄介なモロ中毒者

深夜の怪女房

亂れ髪の新川端
深夜の怪女房
亂れ髪の新川端
深夜の怪女房

昨夜の怪女房

亂れ髪の新川端
昨夜の怪女房
亂れ髪の新川端
昨夜の怪女房

昨夜の怪女房

亂れ髪の新川端
昨夜の怪女房
亂れ髪の新川端
昨夜の怪女房

お醤油は ヤマフル
山崎合名會社
電話(本店)二七〇番

花柳病科
午後診
午後診
午後診

花柳病科
午後診
午後診
午後診

花柳病科
午後診
午後診
午後診

花柳病科
午後診
午後診
午後診

花柳病科
午後診
午後診
午後診

花柳病科
午後診
午後診
午後診

花柳病科
午後診
午後診
午後診